



地域の中小企業で働く誇りを胸に 新たな未来に向かっての第一歩

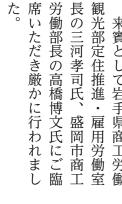
2024 岩手県中小企業家同友会 新入社員研修会



岩手県中小企業家同友会 http://www.iwate.doyu.jp/

2024年 大好きな地域の中小企業で働く誇りを胸に、 新たな未来に向かっての第一歩~

ウィングにて開催されました。 メトロポリタン盛岡ニュー 員の合計4名の参加でホテル 合同入社式が20社34名の新入 来賓として岩手県商工労働 4月1日 (月)、 30名の経営者、幹部社 盛岡市商工 新入社員



目信を持って

スタートを心からお祝いいた 足で歩んでいただきたいと思 らは自分の頭で考え、自分の 選び入社されました。これか らしをしっかりと支えていま が中小企業であり、地域の暮 えます。その大部分、9・8% といわれる組織は約370万 締役会長)は、「全国で会社 表理事(㈱高田自動車学校取 します。」と挨拶しました。 あいさつに立った田村滿代 皆さんはその中小企業を 事業所は500万社を超 社会人として新たな

られました。

期待を込めたメッセージが贈 れからの未来を担うことへの 新たに船出をする若者に、こ 少子高齢、人口減少のなかで、

森の音 ジをいただきました。 社員に向けて激励のメッセー 輩社員の街美建工業 を一人ひとり紹介した後、先 その後、新入社員34名全員 小野寺茜氏より新入

住工房

を生かして次に挑戦するとい 先輩に聞く、失敗してもそれ ません。それから1年が経過 を迎えました。思い出せばそ し仕事を通して感じること んと同じ場所に立って入社式 不安と緊張感は今でも忘れ 小野寺氏は「私も昨年皆さ わからない事は積極的に

失敗を恐れず進む気持ちを

来賓の岩手県商工労働観光

雇用労働室室長

の三河孝司氏、 部定住推進・

盛岡市商工労

働部部長の高橋博文氏からは

神戸大学名誉教授 宮厚美氏 は「本日は私たち新入社員の 機電開発㈱福士裕梧さんから

取り組む社会人に ルを送りました。 張っていきましょう。」とエー 何事にも全力で取り組み 新入社員を代表して東日本

ます。 働くことを通

にありがとうござ

に日々学び続け、 情勢に対応するため ぐるしく変わる社会 ます。一人前の社会 ことも多いかと思い ように日々精進して 各企業の名に恥じぬ るように、また先輩 て、 力で取り組み、目ま ように、何事にも全 たばかりで至らない いきます。 方が築いてこられた 人に少しでもなれる 地域に貢献でき 社会に出

す。皆さんぜひ一緒に共に頑 う事の大事さを感じていま 述べられました。 いります。」と力強い決意が の業務に全力で取り組んでま 抱いている志を忘れずに毎

きった入社式となりました。 希望を胸に新たなスタートを をいただき、それぞれ期待と 創造しよう」のテーマで講演 より「生きがいのある人生を 戸大学名誉教授 二宮厚美氏 その後記念講演として、

• • • • • • • • • • • • •



共に学び、 共に希望を語りあった2日間

勢の名での研修会開催となり が実行委員として関わり、総 と、23名の経営者、 今年度は22社37名の新入社員 社員研修会が開催されました。 トホテル盛岡で2024新入 4月2日、3日の両日、アー 幹部社員

制を準備してきました。最近 今年の新入社員の受け入れ体 えりながら意見交換を重ね、 以上前から実行委員会体制を 社員共育委員会では、半年 前年の研修会をふりか



企業が増えています。 新入社員のフォローに生かす 社員に関わりながら自社での 日間を通して参加し、他社の では各企業から幹部社員が2

営者、 から、 が増え続けています。 実践でもフル活用できること 員研修や経営指針の社員との 各社に戻ってからの新入社 幹部社員の参加する方 年々新入社員以上に経

からの未来に挑戦する勇気を あります。だからこそ、これ 間にしか突破できないことが えていく体験を糧にできる人

を詳細にご紹介します。 いの中から生まれ成長する姿 考え、人間と人間の関わり合 化する新入社員。自分の頭で りと未来を見据えた表情に変 間の間に社会人としてしっか 迎えた入社式からたった3日 瑞々しくも緊張した表情で

歩あゆみ出す、挑戦す

究していってほしい。そして の前の仕事に誠実に向き合 は、「皆さんには一生懸命目 た下村善勝社員共育委員長 研修会の冒頭で挨拶に立 自分の可能性を懸命に追

け、次々に訪れる障壁をも越 努力し続け、社会に揉まれ続 ていきます。そうして愚直に 年先まで自分探しの旅は続い せん。もしかするとずっと何 答えを見つけることはできま を選んだのか。自分はいった たはなぜこの会社、この仕事 瞬間に出会ってほしい。あな まれてきたんだ!』と感じる 「これをするために自分は 何者なのか。簡単にはその

う。」とのメッセージが贈ら あゆみ出す勇気を持てるよう ていってほしい。その一歩、 に、一緒に学んでいきましょ 新たな一歩を踏み出し 伝えていきます。

と協力し合い達成する 個人プレー から仲間

研修が始まりました。

す。決して模型には触れるこ くつもの課題が隠れていま 成します。しかしそこにはい と同じものを制限時間内に作 室にある難解なブロック模型 7つのグループに分かれ、別 使った意思伝達ゲームです。 第1講はカラーブロックを

れてきます。 がほぐれていく様子が感じら 見え隠れし始め、徐々に緊張 なって向き合うことで笑顔が す。そんななかで二人一組に 会場全体にガチガチになって こわばった表情の新入社員。 に相手を紹介していきます。 ビューし、グループのみんな 紹介」からスタートです。 いる雰囲気が伝わってきま めて出会った相手にインタ まず 一インタビュー、

が、人とのコミュニケーショ る温もりのある関わり合い ンの大切さを自然に体験から 同友会の研修会の特長であ

経営者チームも参加しての競 ションです。 複製を作り上げる難題ミッ を明確にし、 とができない上に、 い合いを行いました。 昨年に引き続き 時間内に正確に 役割分担

連絡・相談」の重 失敗してわかった「報告

成感が感じられました。 合わせてやり切ったという達 を達成するために全員で力を ながら悔しさの中にも、 はありませんでした。しかし ら今回は完成できたグループ 過ぎて行きますが、残念なが りも重要です。 めには、 制限時間内に完成させるた チームワークが何よ 時間は刻々と 目標



感することができました。 談」をすることの重要性を体 やく正確に「報告・連絡・相 報を共有できるように、すば には、チームとして全員が情 提であること。またそのため 対し正確に応えることが大前 められた納期を守り、注文に いく上で、日常の仕事では決 これから社会人として働いて に考える時間となりました。 点や改善点などを全員で真剣 ジメントの重要性など、反省 役割分担の仕方、タイムマネ 伝達方法についての考え方や ものを全員に共有するための 振り返りでは、自分が見た

つくる主体になる 学ぶことで自らの歴史を

を確認しました。 ていく大切な時間であること さん一人ひとりの未来を創っ 学び合い、考え合うことが皆 れ、こうして3日間もかけて えていくものであることに触 自らの歴史をつくる主体に変 が、人々を単なる客体から、 持っている「権利」であるこ ときから誰もが人間として 言を例に、学習=学ぶことは なぜ共に学び、共に育つ、共 りました。私たち同友会では、 マナー」を学ぶことから始ま 「義務」ではなく、生まれた そして学ぶことそのもの またユネスコの学習権宣 日目の最後はマナー研修 の考え方を大切にきたの 最初に「人間としての

ども、 ている人の役に立ちたいけれ ても説明がありました。「誰 ちこん)」という言葉につい 起された「素心知困(そしん 長であられた西澤潤一氏が提 と。でも今すぐ目の前の困っ の役に立つ心を持っているこ しもが生まれながらにして人 また岩手県立大学の初代学 自分には解決できるだ



ました。 う意味であることが紹介され く原動力にしていこう」とい 悔しさを自ら学び成長してい けの能力も経験もない。 その

なりました。 ても再認識する貴重な時間と 自身もずっと同じ考えで生き てきた」という感想もあり、 緒に関わる実行委員にとっ 自分たち自身のこと」「私 新入社員からは「まさに今

会人としての覚悟

は、 ビジネスマナーの基本で 今日から社会人としてす

> しました。 全員で何度も繰り返し練習を ぎの角度から発声方法など、 意識をしたことのない、 す。これまでの学生生活では 人として欠かせないマナーで の第一歩である挨拶は、社会 関係をより良くしていくため 実践形式で学びました。人間 ぐ生かせるマナーについて、 おじ

成長していきます。 やはり体験することで人は 最初はな

していきました。 する社員の姿に変化 情で大きな声で挨拶 後には自信溢れる表 勢に刺激を受け、 する声の大きさや姿 委員の皆さんの挨拶 かった社員も、実行 かなか声が出ていな

段々慣れはじめ、会 失敗を重ねながらも も何度もあります。 の操作に戸惑うこと く出てこなかった みると、言葉がうま 際に受話器を使って うになるまで繰り返 スムーズに話せるよ し練習しました。実 電話の応対でも、 保留ボタンなど

> 話になっております」と話 社名を言いながら「大変お世

した。 気込みを感じることができま 情に変化し、社会人としての だけで一気に引き締まった表 が、マナーの実践練習をする の中では繰り返されました のもの」であることも、研修 姿も板についてきました。 覚悟とやる気に満ち溢れた意 マナーの語源が「生き方そ



バックキャストで考える10年先のありたい自分から

た。

自社で社員とともに取り組 もとに、毎年更新し続けてい る意味と目的について丁寧に お話いただきました。

お入社員は、実行委員から
がおいる性にしながら「自分の活を参考にしながら「自分の方動基準となるもの」「自の大切にしている価値観」「自の大切にしている価値観」「自の大切にしている価値観」「自める。

て真剣に悩みながら書き始めました。し書き始めました。しかしこれまでの人生の中で、こんなに深の中で、こんなに深いはがは学生時代はあいませんでした。し

に入って関わっている実行委員の経営者、幹部社員の経営者、幹部社員の経営者、幹部社の考えている大切な価値観などを、それでループで紐をたっぷりつくりま

添いながら一人ひとりの考えまれてきます。何よりも寄り

社員から徐々に言葉が生

想いを引き出す(在的にある)人ひとり

新入社員は実行委員の皆さんの話を聴いて、自分に置きんの話を聴いて、自分に置きいったの大切にしてきます。「あいったの大切に思われていることなたの大切に思われていることなっ。「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達や家族は?」「あなたが友達やる人間の言葉を少しずつ変えて話していきます。

そこで、グループ

を引き出すことを第一に優しくことになります。

ことにしました。

仕事はどれなのか上司に聞くでした。そこで優先してする

ことで糧になる辛さもそれを乗り越える

人生設計書を描くことが難しい新入社員にとって、身近ります。今回は、㈱仙北造園自身に重ねて描ける一歩になります。今回は、㈱仙北造園ります。今回は、㈱仙北造園がら出た質問にも丁寧に答えがら出た質問にも丁寧に答えがら出ただきました。その後各グループさました。その後各グループさんのお話の内容をご紹介しさんのお話の内容をご紹介した。

「入社した当初は、専門用 語や道具の名前もわからず知 さのは事に別の仕事だけではな でやっていました。 でして一つの仕事だけではな でいました。 ではならず、どれを優先して ればならず、どれを優先して

新入社員の皆さんも最初は に仕事の知識を得ていくと思いますが、全てを吸収するに は限界があると思います。ま は限界があると思います。ま は限界があると思います。ま



経営者も悪戦苦闘のブロックゲーム

することで仕事への向き合い も大切にしてください。そう させて『自分が楽しむ』こと れないで下さい。 迷った時は相談することを忘 いと思います。大事なことは ンジする気持ちも持って欲し ることも出てきますがチャレ も変わっていきます。失敗す が出てきます。 待に応えたい』という気持ち の糧になっていき、次第に『期 が経つことでその辛さも仕事 験すると思います。 また、プライベートも充実 これから辛いことも沢山経 それが責任に でも時間

~感想レポートから~

いきたい。

シートを再考していくこと

い出し、10年ビジョン構築

で目標に一歩一歩近づいて

方も変わっていくと思いま



色紙に込めた **入切にしたい** 想いを胸に この

いただき明日から一社員とし が色紙に込めた想いを伝えて 言葉でもあります。それぞれ 持って仕事に取り組むための 標を掲げ、この一年意識を 日間の研修で自分が目ざす目 全員の前で発表しました。二 てスタートを切る一歩になり こと」を色紙に書いたものを 私がこの一年大切にしたい 二日間を締める最終講では

「協力し合った仲間たちを忘れない」

研修に向け精一杯頑張って

いきたい。

日間の研修を終了しました。 修会で再開することを誓い二 送り9月のフォローアップ研 全員から新入社員にエールを かわっていただいた実行委員 最後に今回一緒に研修にか

2024 岩手県中小企業家同友会 新入社員研修会

節目、 2日間同じ新入社員や経営 も充実した2日間だった。 わったように思った。とて 者の方々の話を聞いて自分 の視野が広がり考え方も変 節目に必ず初心を思

この研修を通して自分の成 時間が自分らしいものにな 入社した会社で働いている 葉を決して忘れず、9月の 協力し合った仲間たちやお き、本当に良い機会だった。 力を身につけることがで で生きていくために必要な 長を強く感じている。社会 世話になった経営者方の言 経験を積み重ねていきたい。 るように、限界を決めずに

相手に対しての感謝の気持 この2日間でたくさんの発 ちを忘れず常に敬意を持つ 学んだことを活かしながら 思います。今後この研修で 加してよかった。 が確信できます。 自分より良くなっているの 仕事に取り組んでいきたい。 て相手と接していきたいと がありました。2日前の 研修に参 自社の新

す。 思い出し、 今回研修で学んだことを活 働きがい、 あった時は再度この研修を り 合っていこうと思います。 かして明日からの仕事に取 入社員は二人ですが支え 組んでいこうと思いま そして困難なことが 生きがいを今後 困難を乗り越え

思った。 学んでいける可能性がたく 今回の研修に参加し新しく が少しでも解消され自分の よいかわからなかったこと 知っていたがどう生かせば ているということを聞け はなく楽しいこともあふれ さんあることを知り、これ 見つけていきたい。 自信にしていければ良いと からも厳しいことばかりで 今までの不安や心配、

自分自身を見つめ直す機会 と強く思った。今後も考え 納得いく答えにはたどり着 気づき、理想の姿に近づく をいただいて、自分はどん でいきたいと思います。 悩んで考えて少しずつ歩ん ることをやめずにたくさん をしていく上で見つけたい けなかったので、今後仕事 まで考えることができた。 ためにどうすれば良いのか なことを考えていたのかに







支部・地区通信

繋ぐために

で行われました。 日(月)滝沢ふるさと交流館界北支部3月例会が3月11

ぶことを決意し、 菌床しいたけ、 祖父母が行っていた、稲作、 ます。櫻田氏は高校卒業後、 今年で創業から10年目になり 化した㈱さくらだファームは てきたものを次世代へ」の ファーム テーマでお話いただきました。 大河氏より「先代が大切にし 2023年5月2日に法人 報告に立った、㈱さくらだ しかし1989年に始め 代表取締役 和牛繁殖を学 就農しまし



櫻田大河氏

はありませんでした。 すが、全てが順調に来た訳で 年実現でき、「ひとつのスター までに法人化」することが昨 センターを建設しました。現 規模を拡大し、2021年に ました。そこから菌床製造の さくらだファームだけになり かでも菌床をつくる農家は、 農家が徐々に少なくなり、 トがきれた」と話す櫻田氏で く、広く販売を行っています。 在では地域の農家だけではな 菌床ブロックを自家製造する た菌床しいたけは地元で作る また、目標であった「30歳

との大切さを痛感します。との大切さを痛感します。 2022年には大切に育ていた子牛を4頭、死なせてしまいました。また冷房装置が間に合わず、しいたけの菌床の生育状態が悪くなるなど床の生育状態が悪くなるなど

也或の農業経営者との黄の生産量は大幅に増加しました。みの成果もあり、しいたけの社員が増え、こうした取り組入面談も開始しました。昨年

地域の農業経営者との横のつながりも以前にも増して強くなってきています。「これからは関係を更に深めながら、若い世代に『農業は楽しい。一緒に働きたい。」と思ってもらえるように農業の魅力を、より広く伝え続けていきを、より広く伝え続けていきを、より広く伝え続けていきを、より広く伝え続けていきとして、熱い想いを持って未を展望する櫻田氏の報告でした。

岩手リアス支部 位員ランチ交流学習会

4月16日 (火) ワタミオー 4月16日 (火) ワタミオー なる岩手リアス支部社員ラン た。今回はこれまでで最も多 た。今回はこれまでで最も多 た。今回はこれまでで最も多 た。今回はこれまででより

「経営者は毎月の例会で本

重ね、社員一人ひとりとの個営理念の見直しと話し合いを

そこで月ー回社員全員で経



河野千乃さん

音で語り合ったり、学べる場があるのに、社員には交流のがあるのに、社員には交流のがあるのに、社員には交流のがあるのに、社員には交流のがあるのに、社員には交流のがあるのに、社員には交流のがあるのに、社員には交流の

や、ご自身がどうして陸前高 したいと本気で思ったこと 研修会に参加し、会社に戻っ 開催された新入社員入社式・ す。4月1日~3日に盛岡で 澤商店社員の河野千乃さんで た。 にゆかりのある食材を使った に自分がぶつかっている悩み 活き生きと活躍できる職場に て社員みんなが目標を持って 美味しいランチを食べたあ に戻ってきたかなど、 オーガニックランドの地域 報告に立ったのは㈱八木 早速ミニ報告に移りまし 率直

時間は貴

な出会いの場

移住者の私にとって、この

どんな仕事をしているか、今もお話いただきました。

考えていることなどお話いただきましたが、20代から30代の多くが I ターンの移住者であったり、どうしても高田にあったり、どうしても高田にあったなど、陸前高田への熱きた方など、陸前高田への熱が報告され、その言葉一つひが報告され、その言葉一つひとつに心揺さぶられる時間ととつに心揺さぶられる時間となりました。

「移住者の私にとってこうした時間は本当に貴重な出会いの場だった」など次回開催いの場だった」など次回開催いの場だった」など次回開催になりました。地域全体に呼になりました。地域全体に呼ばかけ、誰もが自由に悩みやおいを語り合える場を時間を



移動 例会in

出向き、 業を訪問し経営体験を聴き 同友会企業を中心に実際に企 など優れた実践をされている に「移動例会」として他県に に設立以来、 ました。青年部は2018年 (水)青年部移動例会が行われ 3月12日(火)~3月13日 経営指針や社員教育 毎年の活動計画

自分たちの糧にしていこう

ました。 形同友会のお力添えで実現し 今年は昨年の広島に続き、山 と、毎年取り組んできました。

現へ向けて学習してきました。 換を夜遅くまで続けながら実 Zoomなども生かし意見交 前学習や学ぶポイントなどを 重ね訪問先企業についての事 月以上も前から打ち合わせを 中心になって企画運営をし 「移動例会チーム」は3カ

00名例会」に圧倒されなが 充実した2日間になりまし の皆さんとの交流を深め大変 も参加し、山形同友会青年部 催の青年部 3月例会特別企 目の夜は山形同友会青年部主 硝子の3社です。さらに一日 業は山形市内の㈱ティスコ運 今回の山形同友会の訪問企 「炎の事業承継」の例会に 山形同友会青年部の「1 ㈱セルヴァン、㈱大久保

ジョンが確実に社員さんと共

時間となりました。 に触れ、決意を新たにした 同世代の互いの熱い想

す。 してご紹介させていただきま れ寄せられた感想を一部抜粋 参加した皆さんからそれぞ

株ティスコ運

ビジョンを確実に 社員と共に共有

営者としての菅原社長のビ 働上限規制に効果を発揮され はありますが2024年の労 うもので、以前からの事業で 等を運ばずに保管をするとい ジタルアーカイブ事業」 法令に合わせた社内体制の変 業界ではありますが、時代や を特に受けると思われる運輸 り組み、理念等ご報告頂きま るなと感じました。これは経 しては運輸業の真逆で、 いる印象を受けました。「デ 素早くかつ適切に対応されて した。2024年問題の影響 菅原社長より会社概要や取 人材育成について非常に 一に関

> じました。 に少しでも取り入れたいと感 ないと思いますが、自社運営 せていく仕組みづくりは一朝 のビジョンと、それを実現さ さんも自ら学び、スキルを向 有されているからこそ、社員 ると感じました。経営者自ら 上させていく風土ができてい 夕では到底できるものでは

株五日市塗装工業

代表取締役 晴山 潤

株セルヴァン

自社の存在意義を

常に考える

社の廃業に伴い、会員の受け ライバル関係であった同業他 常に考えておられる所が、 掲げ、色々な取り組みから、社 健康寿命をのばすビジョンを 激減するなか、山形県全体の 入れ依頼を直に受けるなど、 に心を打たれました。また、 会にとっての自社の存在が 社会に対する自社の存在が着 コロナ禍で会員数が25%も

> ただきたいと感じました。 (住田住宅産業株 代表取締役 中野 和人

会社自体に付加価値を つけていく重要性

学ばせて頂きました。 加価値を付けていく重要性を すのではなく、会社自体に付 業そのものに付加価値を見出 題です。 のように見出していくかが課 が見えてきて、 る設備用管資材の卸業は限界 の経緯を学ばせていただきま 合わせるだけでない事業展開 至るまでの経緯、 した。弊社事業の屋台骨であ 貴社の成り立ちから現在に 東海林社長から、 付加価値をど また市場に 事

(角川藤 代表取締役 川村 正太郎





株大久保硝子

10年ビジョンを

どのくらいの想いで

とが山形では浸透していると クキャスティングで考えるこ 社長も同じく、目標からバッ ました。セルヴァンの東海林 るところも素晴らしいと思い 社員教育の機会に利用してい した。また、同友会の訪問を 員さんから聞くことができま いるような人材育成の話を社 会テーマをそのまま実践して 「任せる」という前日の例 つくるかの重要性

思いました。その中でバック

今年中にお客様の「うまい」 の弱さだと感じましたので、 10年ビジョンの弱さ、科学性 を感じました。自社の課題は も10年ビジョンの想いの強さ 企業3社のティスコ運輸、 のくらい想いをもって作った おいている10年ビジョンをど が重要ではなく、考える基に キャスティングで考えること の先を考えていきます。 ルヴァン、大久保硝子3社と かが重要に思えました。訪問 (ふじむら農園 セ

代表 藤村 真哉

中堅社員が中心となり

針を決めるなど、自社ではと が社員を率いて会社の経営方 や新規への取り組み、地域戦 のなか、社長の営業の頑張り 売は赤字に変わり大変な状態 だったが、メインの硝子の小 ました。また、4年目の社員 とに本当に素晴らしいと思い と売上約10億まで成長するこ をしました。今は1億の黒字 略の見直しをすることによっ て対立することなく黒字転換 100年企業で資金は潤沢



知らされました。 に育つ」ということだと思い 組みですが、これがまさに「共 ても真似ができないような取 (岩手日化サービス㈱ 代表取締役 吉田 巧

決意した事

社員と向き合っていこうと

した。 こう、と心に誓った二日間で ことなく、今後一層社員と向 と感じました。山形の地でご 改めて今回参加して良かった き合い地域と共に成長して行 日間出会った皆さんに負ける たが、あまりの内容の濃さに 二日間と言う短い時間でし

同友会活動を運動

ようになっていきたいと感じ うな素晴らしい経営を岩手で 友会青年部が実現していたよ も分かち合いたいし、 という域にあると思い、この ます。今回同友会活動が運動 形同友会の皆様には感謝致し 自分も仲間たちも実現できる ような感動を他のメンバーと 暖かく迎えていただいた山 山形同

中小企業は付加価値と 業定義を定めることで

日間の学びでした。

のですが、間違っていなかっ でもある」旨の話はしていた きりさせよう、 要素だと感じました。当社で 要、だから事業定義を定めそ に沿っていれば方法・手段は が理念に沿っているか、理念 物事を考えていました。それ は、バックキャスティングで も私のほうから「目的はは いくのは会社が成長していく こに関して新規事業を行って 大企業と違い、付加価値が必 いくらでもある。中小企業は 訪問先企業のすべての代表 方法はいくら 成長する

> バーは心に誓った有意義な2 社していきたい」と訪問メン ずこの3社に負けない良い会 自社にフィードバックし、「必 の訪問で学んだことを絶対に じました。今回本当に有意義 経営に対する思いは伝え続け を大切にしながら、それでも な企業訪問となりました。こ なければいけないと改めて感 たのかなという思いと、社



П

するなかで、

に地域を訪問

「2026年中小企業問題全国研究集会 in 盛岡」開催を500名で迎えよう!~

に転じられない時期が続きま 少したことで、なかなか増勢 多くなり、直接集う機会が減 オンラインでの例会や会合が 本大震災、コロナ禍のなかで しました。この数年間、東日 年ぶりに400名会勢を回復岩手同友会は3月31日、13

県内400名会員を超えるこ 超える方々に入会いただき、 地で増強への取り組みが活発 とができました。 そんな中で今年2月から各 2ヶ月で実質20名を



吐露できる場を 例会を実施し、 岩手リアス支部~愚直に毎月 若手が悩みを

した。 やってのけて実現したもので 約束を取り付け、その壁を あったら支部長を引き受ける 3ヶ月連続で30名例会出席が 部はいらない」という00歳(当 氏たちが、「この地域には支 時)の八木澤商店・河野通洋 土壌をつくりたい」と30代(当 ても若手経営者が学び合える 生み出した支部は、「何とし の2年前でした。当時28名で 仙支部の創設は15年前、 岩手リアス支部の前身の気 のベテラン高田自動車学 田村滿さんを説得し、

彼ら、彼女らが、現場に張り 気仙に戻ってきている。その も、こんな声がありました。 交えて語らう姿があります。 者が訪れ、ゲストも交え膝を こには毎回20名を超える参加 欠かさず開催しています。そ てた支部例会は、現在も毎月 いま30代の後継者が続々と 先日開催された4月例会で 15年が経過し、報告者を立

> とあらためて感じた時間でし どんなことでも実現できる。

小企業問題全国研究集会の開

2026年3月、盛岡で中

実現することができました。 できないことを、連帯の力で

「皆が本気で一致結束すれば、

に取り組むことで、一人では

今回、

共に関わり合い一緒

たい。 ぞ、同友会があるぞ、と伝え 残すにも、あの若手後継者達 ちと同じだ。地域を次世代に の15年前のあのときの自分た ながら辟易している。震災前 として、夜中まで休まず働き が、こんな関わり合いがある 付きプレイングマネージャ 経験させたい。」 あの魂のぶつかり合い

どんなことでも実現できる 皆が本気で一致結束すれば、 ••••••••

この2ヶ月間、 毎日のよう

••••••••••



れぞれの何が強みで何が弱い地域が消えてしまう。企業そ 事ではなく本気になって互い でも都市圏だって同じ、他人 の愛情も危機感ももの凄い。 り組もう。気仙地域は地域へ みをどう伸ばすかに真剣に取 論して、知恵を出し合い、強 のかみんなでもっともっと議 くなったら、 が地域からな う。中小企業 みをつくろ 掛け合う仕組 り、常に声を 営者をま た。「もっと こんな声も聞 に向き合い、お互いに学び 沢山の地元経 こえてきまし わ

合っていくうねりを生み出そ 抜かず必ず進もう。」との声ちゃいけない。このまま気を名という峰はこれから。止め 0名実現に向けて頑張って参 で岩手の未来を展望し、50 があがりました。ぜひ皆さん はあくまでも通過点。500 達成を祝う会では が決まりました。 「まだこれ 400名



支部地区 岩手リアス支部 大船渡地区	支部地区	県央支部 紫波矢巾地区
氏 名 遠藤 瑞生		横澤 典暁
企業名(前大海		Office Yokosawa
役職名代表取締役	役 職 名	
住 所 大船渡市猪川町下権現堂 101-1		紫波郡紫波町上松本字荒屋敷 9
T E L 0192-25-0023	TEL	090-9743-5330
F A X 0192-26-5808		商品企画開発・営業代行・営業支援・営業人材
	事業概要	
事業概要		全般
支部地区 県央支部 紫波矢巾地区	支部地区	盛岡支部 第3地区
氏 名 小原 一恭		加賀谷 輝雄
企業名 キングラントウホク(株)		㈱カガヤ不動産
役職名 取締役		代表取締役
住 所 紫波郡矢巾町流通センター南1丁目6-1		盛岡市肴町 4-5 カガヤ肴町ビル 4F
T E L 019-613-2788		019-601-9522
F A X 019-613-2789	F A X	019-613-7752
事業概要 窓装飾の販売、リース、什器、備品の販売、 設備リニューアル工事	事業概要	不動産売買、賃貸借及び仲介、保有並びに管理
設備リニューアル上事	3 7 7 7 7	TOOLS OF THE PROPERTY OF THE P
支部地区 岩手リアス支部 高田住田地区	支部性区	県央支部 花北地区
氏 名熊谷 正文		昆野 充
企業名(㈱高田松原		MK-HOUSE
役職名代表取締役	役職名	
住 所 陸前高田市高田町字鳴石 50-10		####WF 4 T D 000 0
T E L 0192-22-9370	住 所	ハイツアルテーム C 号
F A X 0192-22-9371		0198-29-6185
	F A X	0198-29-6985
事業概要 道の駅高田松原の運営会社	事業概要	一般建築・リフォーム工事・解体工事
支部地区 盛岡支部 第3地区		県央支部 紫波矢巾地区
氏 名 獅子内 一義		新垣 直也
企業名㈱あさ開		haru SaNa
役職名執行役員社長	役職名	
住		紫波郡矢巾町白沢 13-118-1 090-2719-0114
F A X 019-624-4303	1 5 6	
1 A X 017 024 4505	事業概要	農業 ミニトマト生産・販売、
事業概要 清酒製造および販売	于未城女	ミニトマトジュース販売
支部地区 盛岡支部 第3地区		岩手リアス支部 大船渡地区
氏 名 天沼 久純		佐藤 徳幸
企業名㈱西部産業		(有)大船渡印刷
役職名代表取締役		代表取締役
住 所 盛岡市本宮字林﨑 1-1		大船渡市大船渡町山馬越 44-1
T E L 019-658-1011 F A X 019-658-1013		0192-26-3334 0192-26-3344
1 A A 017 030 1013	I A X	0172 20 JJ TT
事業概要 自動車教習所、認可保育所	事業概要	印刷業
支部地区 岩手リアス支部 大船渡地区	支部地区	県央支部 紫波矢巾地区
氏 名 市川 喜規		吉田 友子
企業名 ㈱サクラダ		合同会社 Quadri FOGLIO
役 職 名 代表取締役	役 職 名	
住 所 大船渡市大船渡町字茶屋前 7-8		紫波郡矢巾町南矢幅 12-7-11
T E L 0192-26-3131	TEL	080-1856-5136
F A X 0192-27-8077	= 41K 100 =	 グラフィックデザイン、ウェブデザイン、
事業概要ホテル業、葬祭業	事業概要	マーケッティング
支部地区 盛岡支部 第4地区	古部地区	県央支部 花北地区
氏 名 吉田 千尋		宗大文部 化北地区 鈴木 陽介
企業名(株) KOTO ワイン盛岡		税理士事務所ランニングパートナーズ
役職名代表取締役	役職名	
住 所 盛岡市乙部 30-70-1		花巻市若葉町 2-18-16
T E L 019-658-8485		080-5747-2450
F A X 019-658-8486		019-903-0371
事業概要 ぶどうの栽培、ワイン醸造	事業概要	税理士業務
TO STATE OF THE PARTY.	J / M S	1/2 224/19//

DOYU

同友いわて

2024**176**

発行

2024年5月1日発行

青臭い、大人たち、がいます

ばして熱く語り合い人と関わり続 中心にはどんなに苦しい時も笑い飛 若者が引き寄せられる魅力とは。 と人との関わり合いが薄いはずの 者が増え続けます。 節介だらけのこの町に、 道ばたで会えば必ず一言。 経験した場所。 はありません。 親切とか暮らしやすいということで 引き寄せられるその理由は、 住している若者が多く感じます。 明らかに強い思いで高田を選び移 いた」という方など、 でお世話になり、 時代に修学旅行で陸前高田に民泊 で去年越してきたばかり」という方 ネーターですが、 集いました。▼「私は移住コーディ な組織や団体から二十代の若手が に考えている人たちが多いから。_ 会を主催する会社の社員など、様々 岩手リアス社員ランチ交流研修 「関東生まれの関東育ち。 観光協会の職員や花火大 「あれだけの災害を 生きることを真剣 その時から決めて 実は京都生まれ 他地域よりも ▼世情では人 なぜか移住 余計なお 単に

















自社の立ち位置を明確にして 社員とともに目指す企業像

「企業変革支援プログラムス テップ 1」、「企業変革支援プロ グラムステップ 2」を1冊にま とめ、全面改訂

A4 判、80 ページ。 定価 2,200 円 (本体価格 2,000 円+税) 2022 年 10 月発行



〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-5 FAX019-626-1644 カガヤ肴町ビル3F

Mail: info@iwate.doyu.jp